The SEGUFIX®-System

セグフィックス 保護ベルト

取扱説明書

製品をご使用の前に、必ず取扱説明書を
よくお読み頂き、
ご理解頂いた上で製品をご使用ください。

輸入販売元 Mysco MATSUYOSHI since 1917 松吉医科器械株式会社
http://www.matsuyoshi.co.jp

注意事項

※ご使用の前に必ずお読みください。

【注意事項 ～ご使用条件～ 】

●「セグフィックス保護ベルト」は、医療施設において、ベッドからの転落防止や動きの制限、姿勢保持等、患者の安全対策の一つの手段として使用される製品です。
●医療法等の関連する法令や告示等に従い、使用環境が整備されている医療施設において、医師が必要と判断する場合に、医師の管理・監督下で使用できます。
●使用方法等を十分に理解し、取り扱いを熟知した医師・看護師がご使用ください。
●個人や在宅での使用はできません。
●ご使用の際は、各施設にて定められたガイドラインや手順・ルール等に従って、適切に使用してください。
●本製品を使用中は、見回りの回数を増やす等、常に患者の状態と製品の状態を監視・確認してください。異常がある場合は直ちに使用を中止してください。
●本製品を使用する際は、上記使用条件を守り、適切に使用してください。誤って使用すると、重大な怪我を引き起こしたり、生命に関わる事故に繋がる可能性があります。

【注意事項 ～ご使用の前に～ 】

●ご使用の際は、患者や製品に損傷をきたす可能性のある物（眼鏡、腕時計、ネックレス等の装飾品、鋭利な物等）、ロックシステムに影響を及ぼす磁気を有する物を周囲に置かないでください。
●本製品は耐火素材ではありません。タバコ等の火気を近づけたり、火気の近くで使用しないでください。
●本製品のロックシステムには磁気を使用しています。ペースメーカー等、磁気の影響を受ける機器を使用している患者には使用しないでください。また磁気の影響を受ける医療機器等の近くで使用しないでください。
●本製品を分解・改造したり、また修理を行って使用しないでください。
●本製品は、他社製品との併用やパーツを混在して使用することはできません。他社製品と一緒に使用しないでください。
●ご使用の前に、必ず本体ベルトの点検・確認を行い、不具合のある製品は使用しないでください（製品の破損、劣化、ホツレ等）。不具合のある製品を使用すると重大な事故に繋がる可能性があります。
●ご使用の前に、必ずロックシステムの点検・確認を行い、不具合のある製品は使用しないでください（ボタン・ピン・キーの組み合わせ、正しくロックするか、キーにより正しく解除できるか等）。不具合があると、正しくロックされない、正しくロックが解除できない等の現象により、重大な事故に繋がる可能性があります。

【注意事項 ～使用上の注意～ 】

●医師の指示に従い、使用目的や患者の状態により、使用する製品および使用方法を決定してください。
●患者の体型や使用する部位に応じて適切なサイズを使用してください。また、ベルトを留める際も使用方法や患者の体型に応じて適切な位置で留めてください。
サイズの合わない製品を使用したり、ベルトを留める位置が適切でないと、重大な事故に繋がる可能性があります。
●ご使用の際は、製品を正しく装着し、各ベルトの緩みが適切な状態に保たれているか、定期的に確認を行ってください。
ベルトを締めすぎると呼吸や循環を妨げ、重大な事故に繋がる可能性があります。
ベルトが緩すぎるとベルトからのすり抜けや絡まり、ベットからの転落等、重大な事故に繋がる可能性があります。
●本製品の使用中は、常に患者の状態を監視し、異常がある場合は直ちに使用を中止してください。
●災害等の緊急時には、ベルトをハサミやベルトカッターで切断して製品を取り外してください。

【注意事項 ～ベッド取り付け時の注意～ 】

●ベッドに取り付ける際は、取付ベルトをベッドフレームの適切な位置に取り付け、ロックシステムでしっかりと留めてください。
●取付ベルトは、ずれたり滑らないようしっかりとベッドに取り付けてください。適切に取り付けられていないと、ベッドからの転落等の重大な事故に繋がる可能性があります。
●取付ベルトは、ベッドの可動に対して影響を受けない位置に取り付けてください。
●高さ調節やギャッチ機能のあるベッドに取り付ける場合は、ベッドを可動させずに使用することで、より安全性が高まります。
●取付後に、ベッドの高さ調節やギャッチ機能を使用する可能性のある場合、ベッド機能への影響や可動時のベッドフレームの動きに伴う製品への影響、ベルトの締め付けや緩み等を十分に検討・確認した上で、取り付け位置を決定してください。
●ベッドサイドレールを使用する際は、必ず先にサイドレールを設置した後に製品を取り付けてください。

【注意事項 ～お手入れの注意～ 】

●お手入れの際は、必ず本体ベルトからロックシステムを全て取り外し、各パーツごとに適切なお手入れを行ってください。

■本体ベルト

洗濯：可（液温 95℃以下、液温が低い方が劣化が抑えられます）
漂白剤：不可
アイロン：不可
ドライクリーニング：不可
乾燥機：可（低温で弱回転の方が劣化が抑えられます）

●洗濯の際には、必ずロックシステムを全て取り外していることを確認してください。
●本体ベルトは洗濯により、約8%収縮する可能性があります。
●洗剤は強力タイプは使用しないでください。弱性・中性タイプを使用してください。
●柔軟剤は使用しないでください。
●洗濯による劣化を抑えるため、ネット使用をおすすめします。
●手用、足用の面ファスナー部は、劣化を抑えるため、留めた状態での洗濯をおすすめします。
●お手入れの後は、製品の破損、劣化、ホツレ等がないか、必ず確認してください。

■ロックシステム

●ロックシステムの各部品は洗濯できません。水濡れに注意して汚れを拭き取ってください。

■継続的な製品の使用

●本体ベルト・ロックシステムは、製品の特性上、継続的な使用による製品への負荷や繰り返しの洗濯等により、破損、擦り切れ、ホツレ等の劣化を招く可能性があります。
●製品を安全にご使用頂くために、製品の状態に応じて、定期的な買い替えをおすすめします。

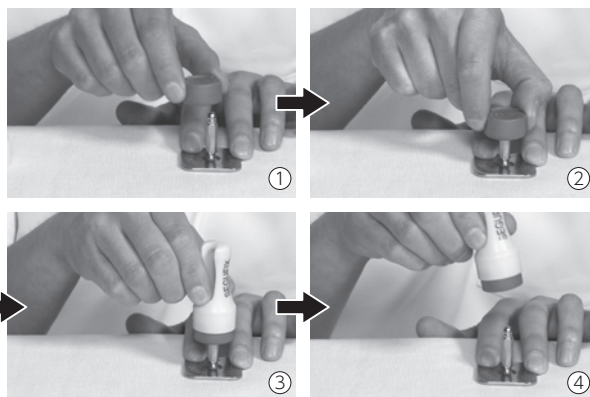
ロックシステム

ベッドへの取り付けやベルトの装着時に使用する、ツイストロックシステムとパテントロックシステムは、製品をより安全にご使用頂くためのセグフィックス独自のロックシステムです。どちらのタイプも、ピンにボタンを差し込むことで簡単にロックできます。ロックされた状態で、ボタンをピンから外すことはできません。ボタンをピンからを外す場合はそれぞれ専用キーを使用します。

ツイストロックシステム

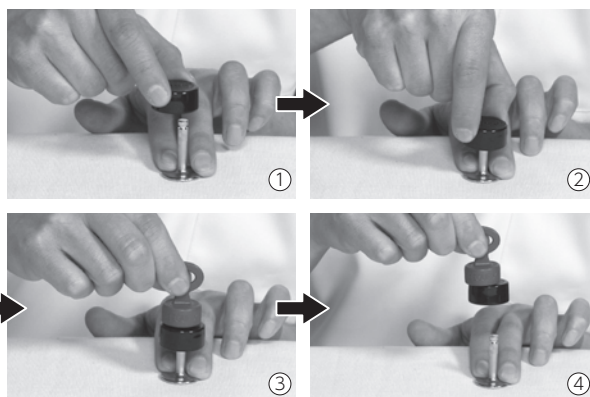
❶ツイストボタン&ピン
❷ツイストキー

■ツイストロックシステムの使用方法

①ツイストピンにツイストボタンをセットし、カチッと音が鳴るまで軽く押し込みます。
②ボタンを引っぱり、完全にロックされていることを確認してください。
③ボタンを外す場合は、専用のツイストキーを使用します。
④ツイストボタンの上にキーを被せ、軽くひねるだけで簡単にロックが外れ、ボタンを取り外せます。
★ツイストロックシステムは、新たに開発されたより安全性の高いロックシステムです。

パテントロックシステム

❶パテントボタン&ピン
❷パテントキー

■パテントロックシステムの使用方法

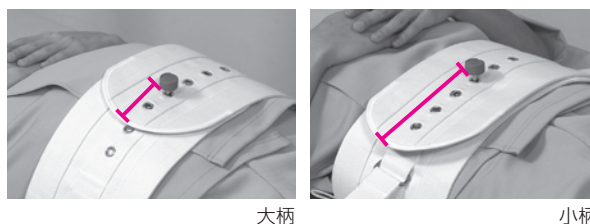
①パテントピンにパテントボタンをセットし、軽く押し込みます。
②ボタンを引っぱり、カチャカチャ上下させ、完全にロックされていることを確認してください。
③ボタンを外す場合は、専用のパテントキーを使用します。
④パテントボタンの上にキーを乗せるだけで、簡単にロックが外れ、ボタンを取り外せます。

【ロックシステムの取り扱い注意】

●ツイストロックシステムとパテントロックシステムに互換性はありません。●異なるボタン・ピン・キーを組み合わせて使用することはできません。●他社製品と組み合わせて使用することはできません。●ご使用の前に必ず、ボタン・ピン・キーの組み合わせが正しいか、適切にロックができるか、キーを使用して適切に取り外しができるかを確認してください。●キーを使用して適切に取り外しができない場合は、直ちに新しい製品に交換してください。●ロックシステムは水濡れに注意してご使用ください。水に濡れると適切にロック・取り外しができなくなります。●ロックシステムは、継続使用により劣化を招く可能性があります。ご使用の前に必ず点検・確認を行い、適切にロック・取り外しができない場合には、直ちに新しい製品に交換してください。●ボタンに強い力が加わったり、常に引っ張られるような使用状況において、適切なロック状態を保つことや取り外しが困難になる可能性があります。●正しく取り外しができない場合、またはキーを紛失した場合は、ベルトをハサミやベルトカッターで切断して製品を取り外してください。

【ロックシステムを留める位置】

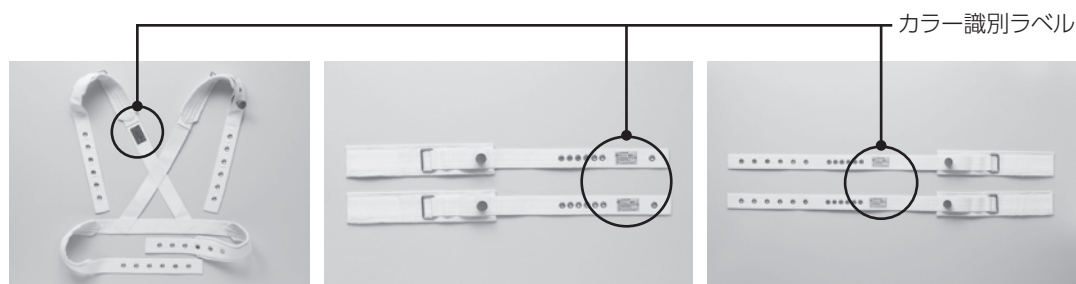
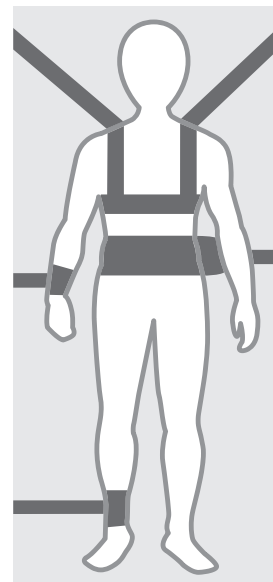
●ツイストロックシステム・パテントロックシステムを使用してベルトを留める際は、患者の体型に応じて適切な位置で留めてください。

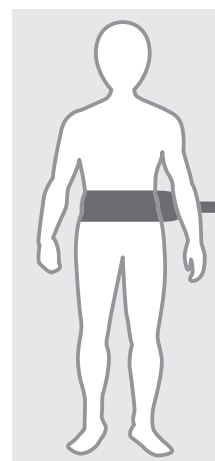
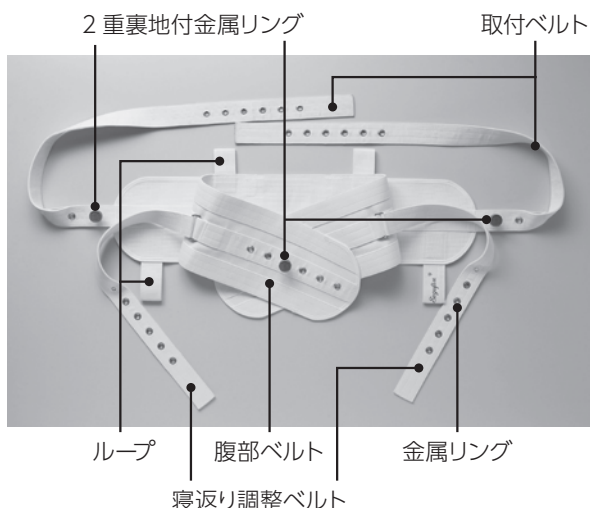
大柄

小柄

【ベルトを重ねて留める場合】

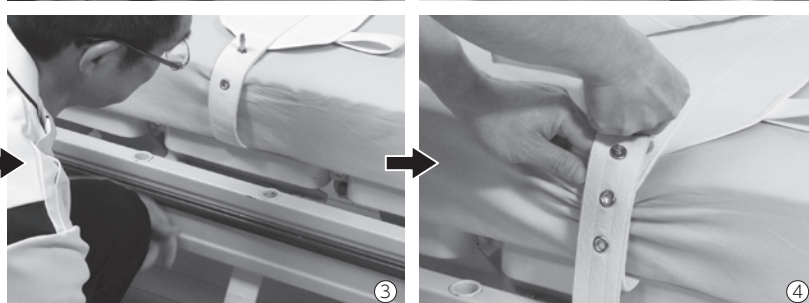
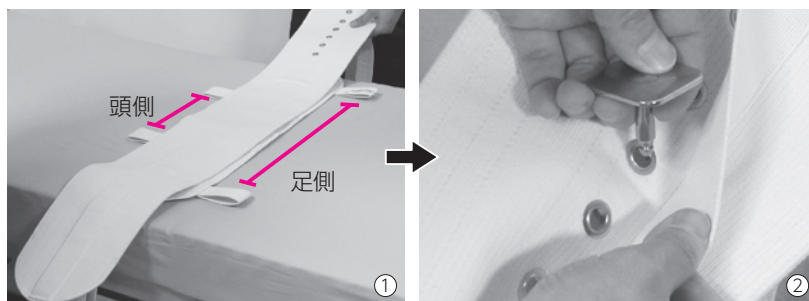
●セグフィックス保護ベルトは、ツイストロックシステム・パテントロックシステムを使用して、1カ所で4枚までのベルトを重ねて留めることが可能です。●4枚重なったベルトを留める際は、ピンの先が少ししか出ない状態になりますので、ボタンが留めにくくなります。●その際は、ベルトの下に手を入れ、ピン全体を押し上げるようにしてピンの先を出すとボタンを留めやすくなります。●ボタンを外す際も、ベルトが4枚重なっていると外れにくい場合があります。●ロックする際と同様に、ベルトの下に手を入れ、ピン全体を押し上げるようにしてボタンとベルトに隙間を作ると、取り外しやすくなります。

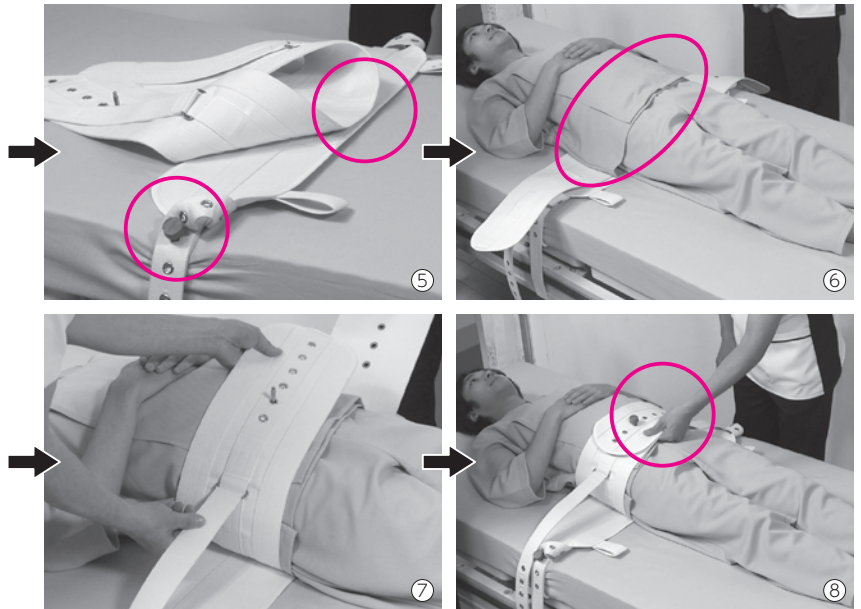
カラー識別システム

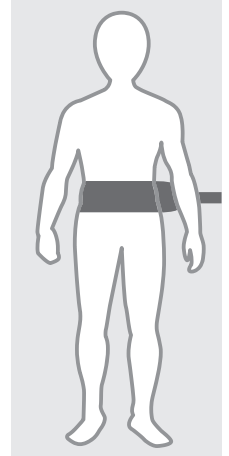
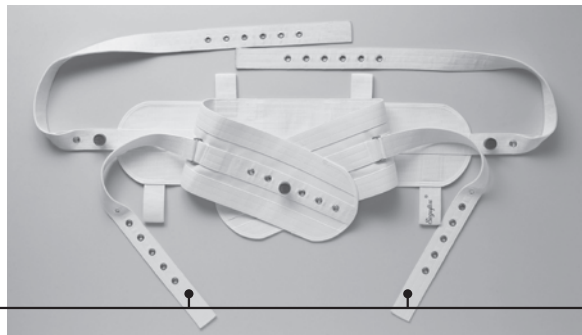
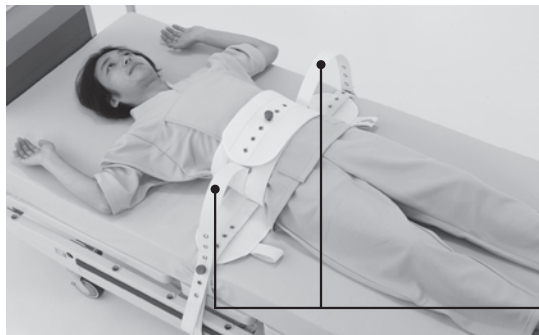
「セグフィックス保護ベルト」は、使用する部位に応じて『カラー識別システム』を採用しています。赤・黄・緑の３色で使用する部位を分類。各製品には、それぞれのカラー識別ラベルが表示されています。ラベルのカラーによって製品の使用部位を容易に識別できますので、使用時の製品の混在や使用部位の間違いを防ぎます。

赤：上半身／黄：腹部・手／緑：足

腹部用ベルト

「セグフィックス保護ベルト」シリーズの基本となる腹部用ベルトです。
腹部用ベルトは、ベッドからの転落防止や安静が必要な場合等に使用します。
※腹部用ベルトを使用する際は、必ず付属の寝返り調整ベルトを使用してください。（P5 ～ 6 参照）

黄：腹部

■腹部用ベルトの使用方法

①腹部用ベルトの中心が、患者のウエストの位置になるように、ベッド上に置きます。腹部用ベルトの上下に付いているループの間隔の狭い方を頭側、間隔の広い方を足側にします。
②取付ベルトの左右 2 カ所と腹部ベルトの 1 カ所にある 2 重裏地付金属リングにピンをセットします。
③マットレスを持ち上げ、取付ベルトをベッドの床板に巻き込むように通します。
④取付ベルトの長さを調整（必要であれば 2 重巻きにする等）し、予めセットしておいたピンに取付ベルトの金属リングを入れ、ボタンで留めます。取付ベルトの余剰部分は、患者に触れないように巻き込みます。反対側も同様に取り付けます。

⑤取付ベルトが緩かったり、ベッドにしっかりと取り付けられていないと、製品が外れてしまったり、ベッドからの転落の恐れがありますので注意してください。
⑥腹部用ベルトが適切に取り付けられていることを確認した上で、腹部用ベルトの中心が患者のウエストの位置になるように寝かせます。
⑦腹部ベルトの予めピンをセットした側を下に、反対側を上にして、患者のウエストに巻き、金属リングに通してボタンで留めます。
⑧腹部ベルトは、締めすぎや緩みすぎに注意し、手が入るくらいの状態で留めてください。

⚠ 上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

腹部用ベルト ～寝返り調整ベルト～

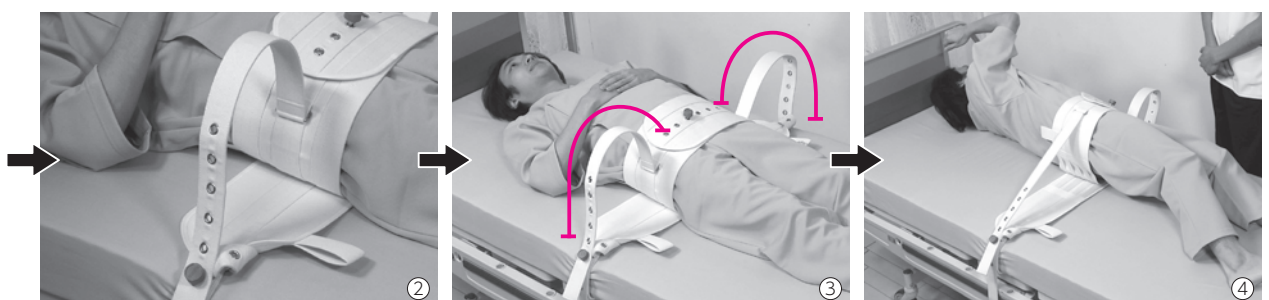
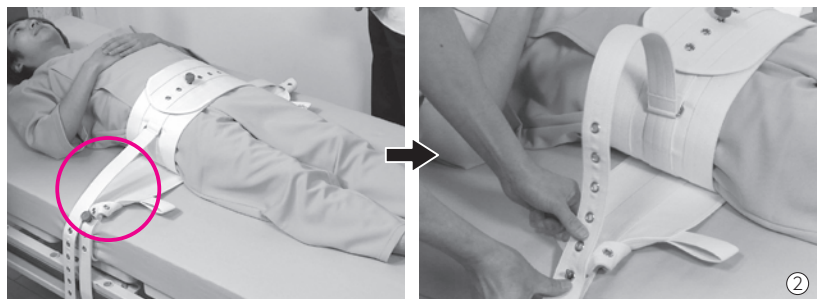
寝返り調整ベルトとは腹部用ベルトに付いているベルトで、取り付けする位置で患者の姿勢保持や動きを制限できます。仰向けの姿勢を保ちたい場合や、寝返りを制限したい場合、横向きに寝かせたい場合に使用します。
※寝返り調整ベルトは、腹部用ベルトの付属品です。必ず組み合わせて使用してください。

黄：腹部

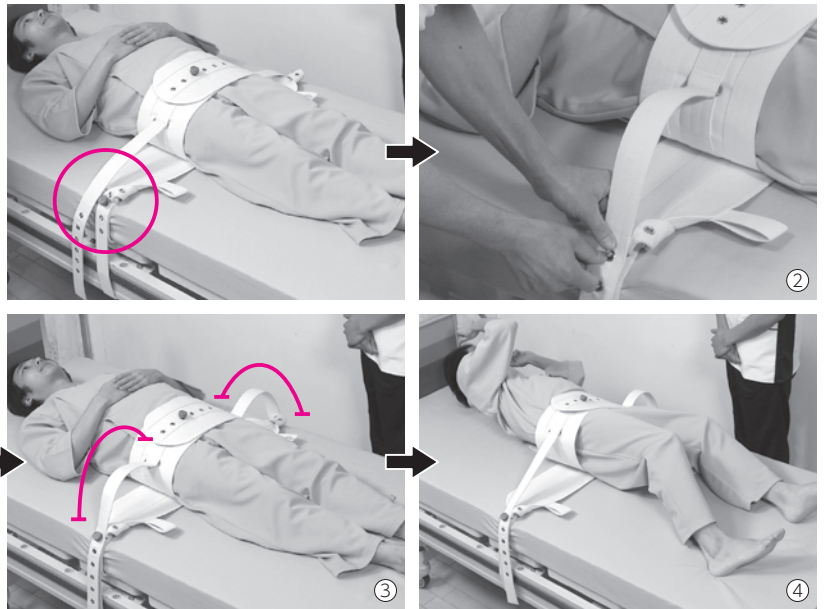
寝返り調整ベルト

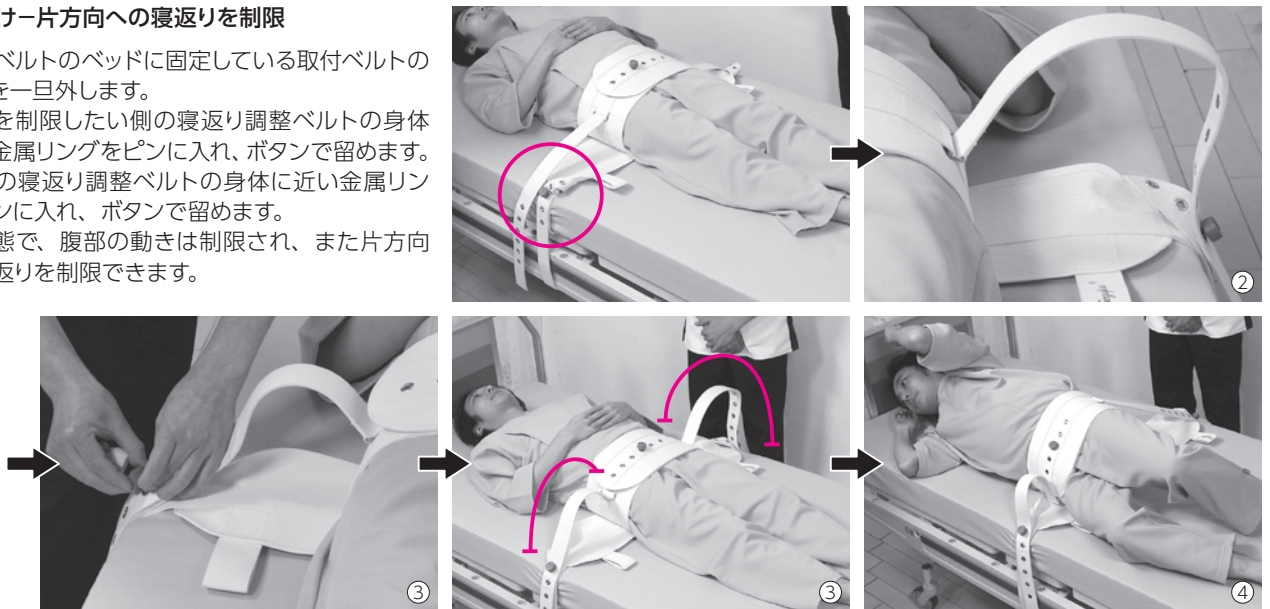
■寝返り調整ベルトの使用方法

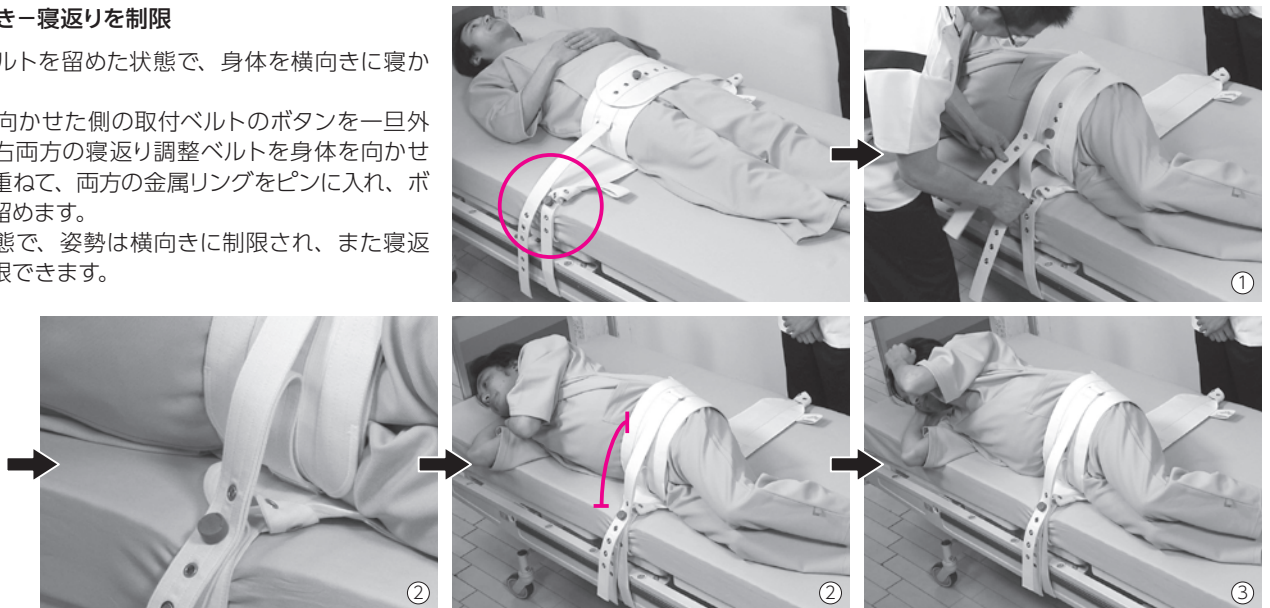
腹部用ベルトの腹部ベルトを留めた後、患者の状態に応じて寝返り調整ベルトを取り付けます。

（1）仰向け－両方向への寝返り可能

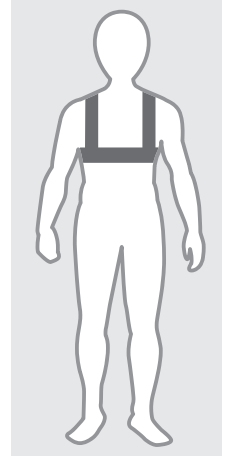
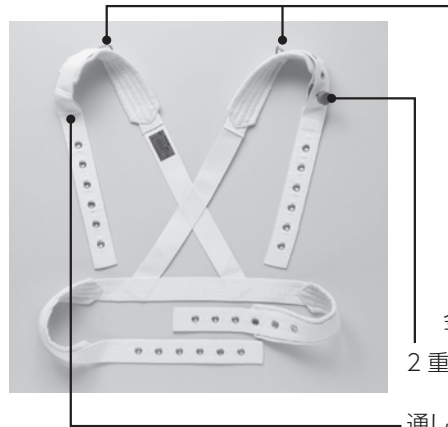
①腹部用ベルトのベッドに固定している取付ベルトのボタンを一旦外します。
②寝返り調整ベルトの身体から遠い金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
③反対側も同様に行います。
④この状態で、腹部の動きは制限されますが、両方向への寝返りが可能です。

(2) 仰向け－両方向への寝返りを制限

①腹部用ベルトのベッドに固定している取付ベルトのボタンを一旦外します。
②寝返り調整ベルトの身体に近い側の金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
③反対側も同様に行います。
④この状態で、腹部の動きは制限され、また両方向への寝返りを制限できます。

(3) 仰向け－片方向への寝返りを制限

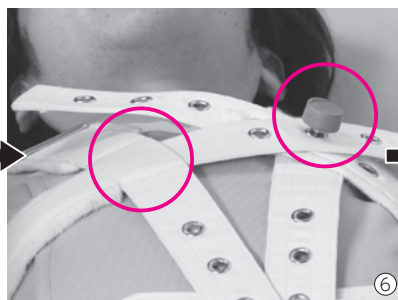
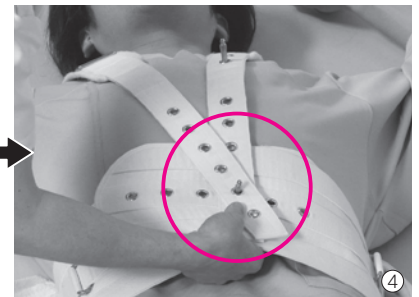
①腹部用ベルトのベッドに固定している取付ベルトのボタンを一旦外します。
②寝返りを制限したい側の寝返り調整ベルトの身体に遠い金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
③反対側の寝返り調整ベルトの身体に近い金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
④この状態で、腹部の動きは制限され、また片方向への寝返りを制限できます。

(4) 横向き－寝返りを制限

①腹部ベルトを留めた状態で、身体を横向きに寝かせます。
②身体を向かせた側の取付ベルトのボタンを一旦外し、左右両方の寝返り調整ベルトを身体を向かせた側に重ねて、両方の金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
③この状態で、姿勢は横向きに制限され、また寝返りも制限できます。

⚠ 上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

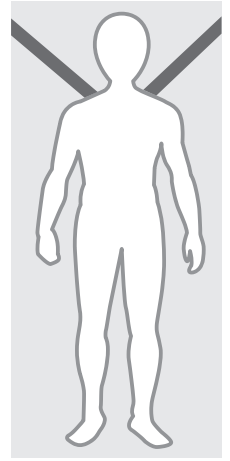
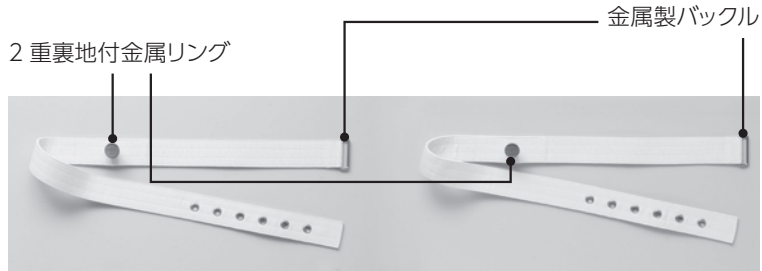
上半身用ベルト

上半身用ベルトは、腹部用ベルトを装着した状態で、患者の動きによる腹部用ベルトからのすり抜けを制限したい場合に使用します。
※上半身用ベルトは単体では使用できません。必ず腹部用ベルトと組み合わせて使用してください。

■上半身用ベルトの使用方法

腹部用ベルトを取り付けた後、上半身用ベルトを使用します。

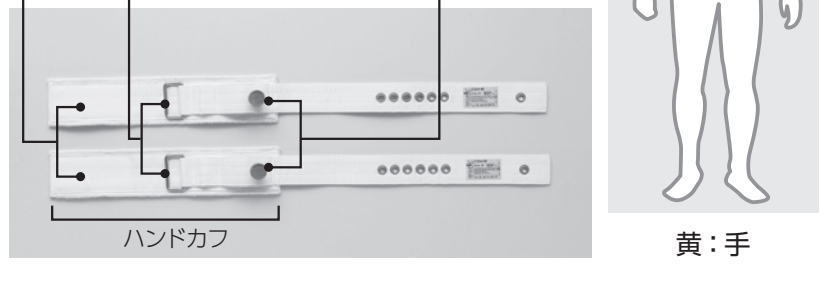
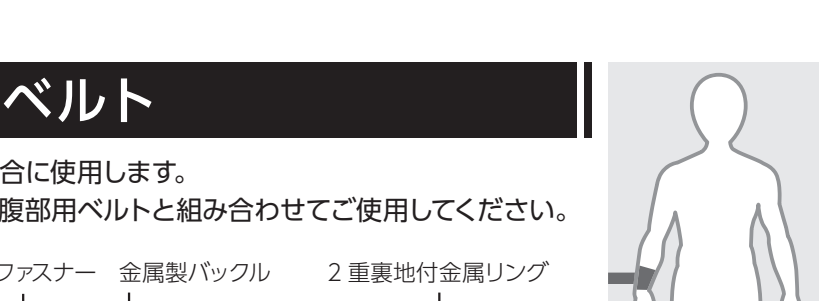
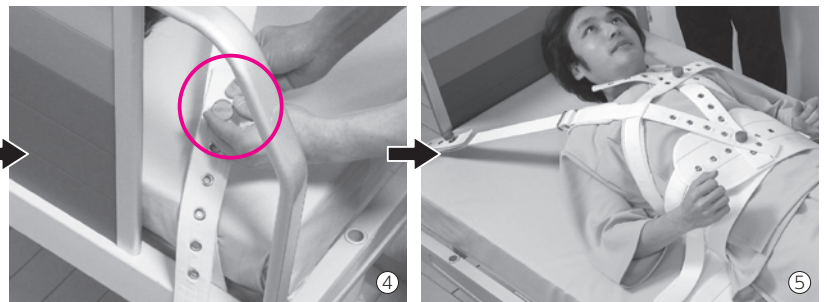
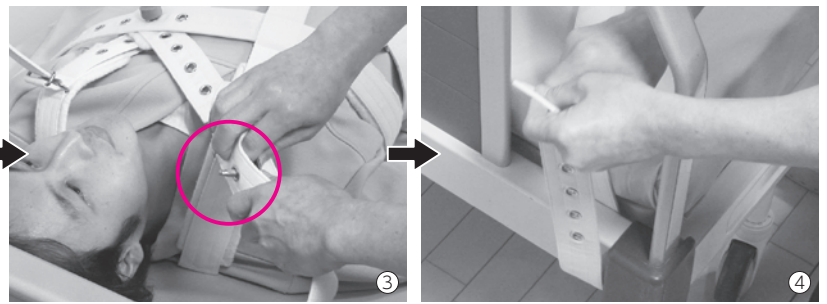
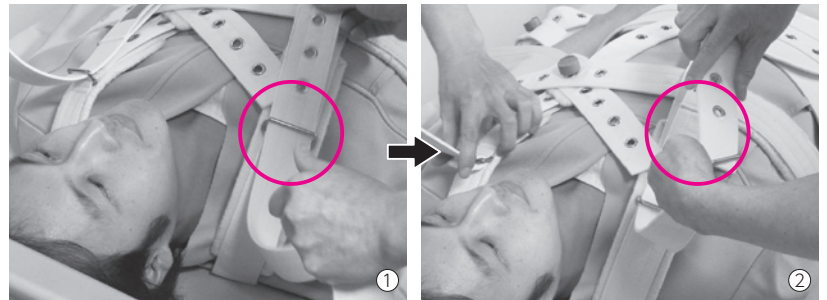
①2 重裏地付金属リング 1 カ所にピンをセットします。
②患者の上体を起こし、セットしたピンが左肩側になるように両肩にベルトをかけます。
③背中側のベルトを整え、両脇のベルトを腹部用ベルトの小さなループに左右それぞれ通します。
④患者を寝かせて、腹部用ベルトの中央で留めてあるボタンを一旦外し、肩側からまわした左右のベルトを交差させ、重ねてピンに入れて、ボタンで留めます。
⑤左脇側からまわしたベルトを、左肩側の予めセットしてあるピンに入れます。
⑥右肩側からまわしたベルトにある 3 カ所の通し穴のいずれか 1 カ所に、右脇側からまわしたベルトを通して、⑤と同じピンに入れて、ボタンで留めます。
⑦この状態で、腹部用ベルトからのすり抜けを制限できます。

上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

上半身用取付ベルト

上半身用取付ベルトは、ベッドからの起き上がりを制限する必要がある場合に使用します。
※上半身用取付ベルトは単体では使用できません。必ず腹部用ベルトと上半身用ベルトと組み合わせて使用してください。

赤：上半身

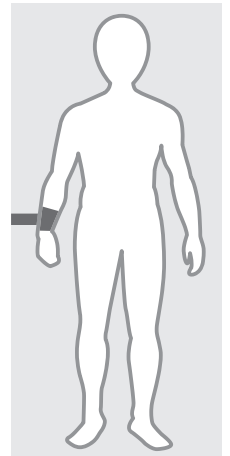
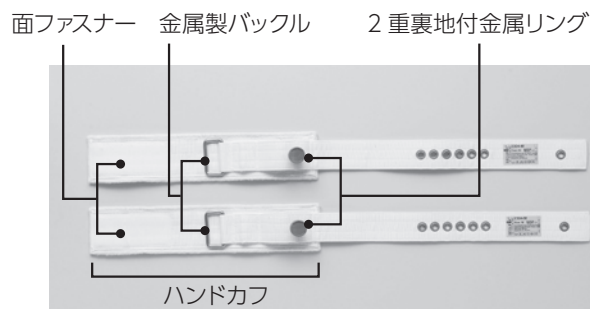
■上半身用取付ベルトの使用方法

腹部用ベルトと上半身用ベルトを取り付けた後、上半身用取付ベルトを使用します。

①上半身用取付ベルトを、装着している上半身用ベルトの金属製バックルに通します。
②それを上半身用取付ベルトの金属製バックルにも緩みなく通します。
③上半身用取付ベルトの 2 重裏地付金属リング 1 カ所にピンをセットします。
④ベルトをベッドフレームに通し、金属リングを③でセットしたピンに入れ、ボタンで留めます。反対側も同様に行います。
⑤この状態で、ベッドからの起き上がりを制限できます。

上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

手用ベルト

手用ベルトは手の動きを制限する必要がある場合に使用します。
※手用ベルトは単体では使用できません。必ず腹部用ベルトと組み合わせてご使用してください。

黄：手

■手用ベルトの使用方法

腹部用ベルトをベッドに取り付けた後、手用ベルトを使用します。

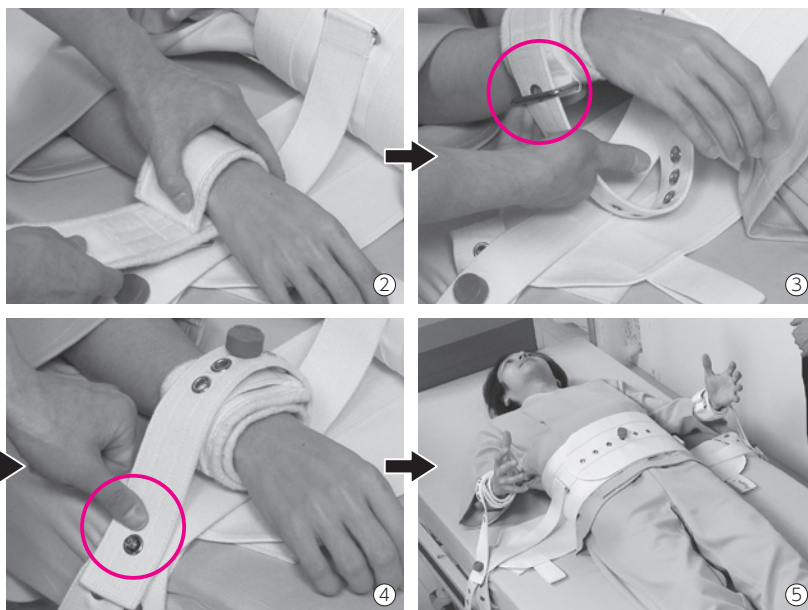
(1) 可動域有り

①2重裏地付金属リング1カ所にピンをセットします。

②金属リングが身体の外側になる向きで、ハンドカフを手首に巻きます。ハンドカフには面ファスナーが付いていますので、しっかり留めてください。

③金属製バックルにベルトを通し、折り返して金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。

④腹部用ベルトと寝返り調整ベルトを留めているボタンを一旦外し、③で留めたボタンが上になるように、余剰部分のベルトにある金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。反対側も同様に行います。

⑤この状態で、手の動きは制限されますが、ある程度動かすことが可能です。

(2) 可動域無し

①手の動きを制限する必要がある場合は、腹部用ベルトの両サイドにある大きなループを使用します。

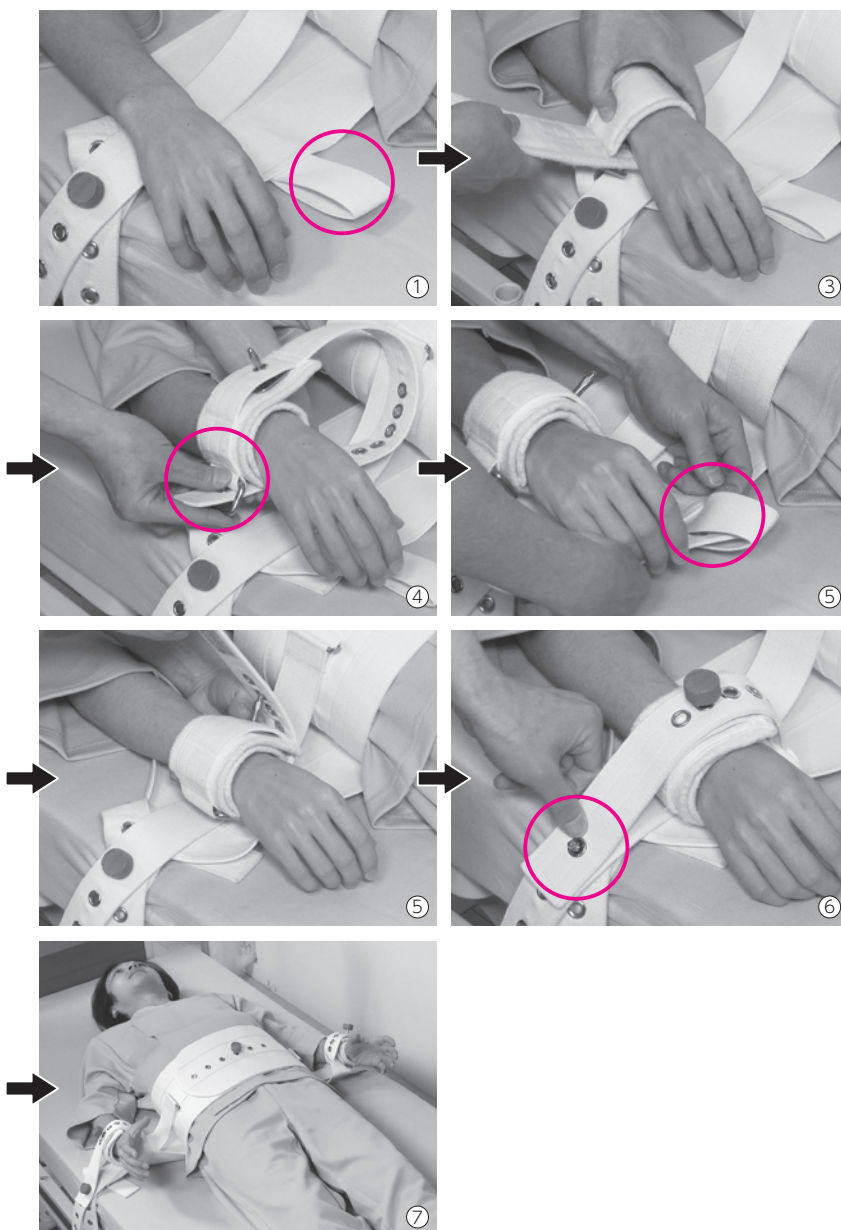
②2重裏地付金属リングにピンをセットします。

③金属リングが身体の外側になる向きで、ハンドカフを手首に巻きます。ハンドカフには面ファスナーが付いていますので、しっかり留めてください。

④金属製バックルにベルトを通し、折り返します。

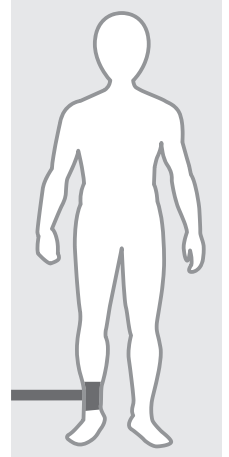
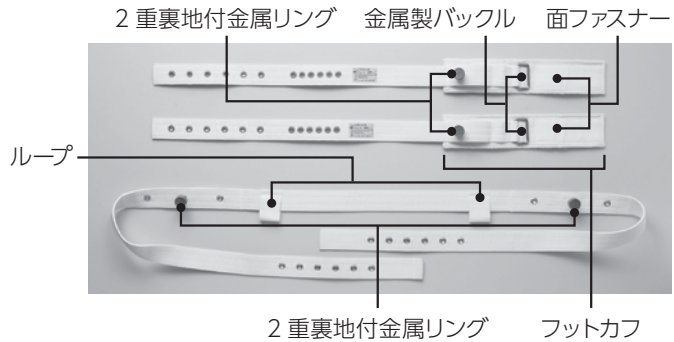
⑤腹部用ベルトの大きなループに通してから、金属リングにピンを入れ、ボタンで留めます。

⑥腹部用ベルトと寝返り調整ベルトを留めているボタンを一旦外し、⑤で留めたボタンが上になるように、余剰部分のベルトにある金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。反対側も同様に行います。

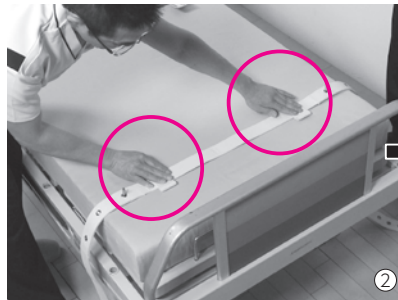
⑦この状態で、手の動きは狭い範囲に制限されます。

上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

足用ベルト・足用取付ベルト

足用ベルトおよび足用取付ベルトは、足の動きを制限する必要がある場合に使用します。
※足用ベルトは単体では使用できません。必ず、足用取付ベルトと組み合わせて使用してください。

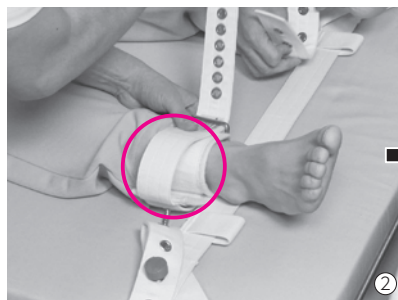
緑：足

■足用取付ベルトの使用方法

足用ベルトを使用する際は、先に足用取付ベルトをベッドに取り付けます。

①取付ベルト左右2か所の2重裏地付金属リングにピンをセットします。
②取付ベルトの中心が、ベッドの中心および患者の足の位置になるように、ベッド上に置きます。ループが足先側になるように置いてください。
③マットレスを持ち上げ、取付ベルトをベッドのフレームに通します。
④取付ベルトの長さを調整（必要であれば2重巻きにする等）し、予めセットしておいたピンに金属リングを入れ、ボタンで留めます。余剰部分のベルトは患者に触れないように取り付けたベルトに巻き込みます。反対側も同様に行います。
⑤取付ベルトは、緩みなくしっかりと取り付けしてください。

■足用ベルトの使用方法

足用取付ベルトをベッドに取り付けた後、足用ベルトを使用します。

（1）可動域有り

①2重裏地付金属リング1カ所にピンをセットします。
②金属リングが身体の外側になる向きで、フットカフを足首に巻きます。フットカフには面ファスナーが付いていますので、しっかり留めてください。
③金属製バックルにベルトを通し、折り返して金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。
④足用取付ベルトを留めているボタンを一旦外し、③で留めたボタンが上になるように、余剰部分のベルトにある金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。反対側も同様に行います。
⑤この状態で、足の動きは制限されますが、ある程度動かすことが可能です。

（2）可動域無し

①足の動きを制限する必要がある場合は、足用取付ベルトにあるループを使用します。

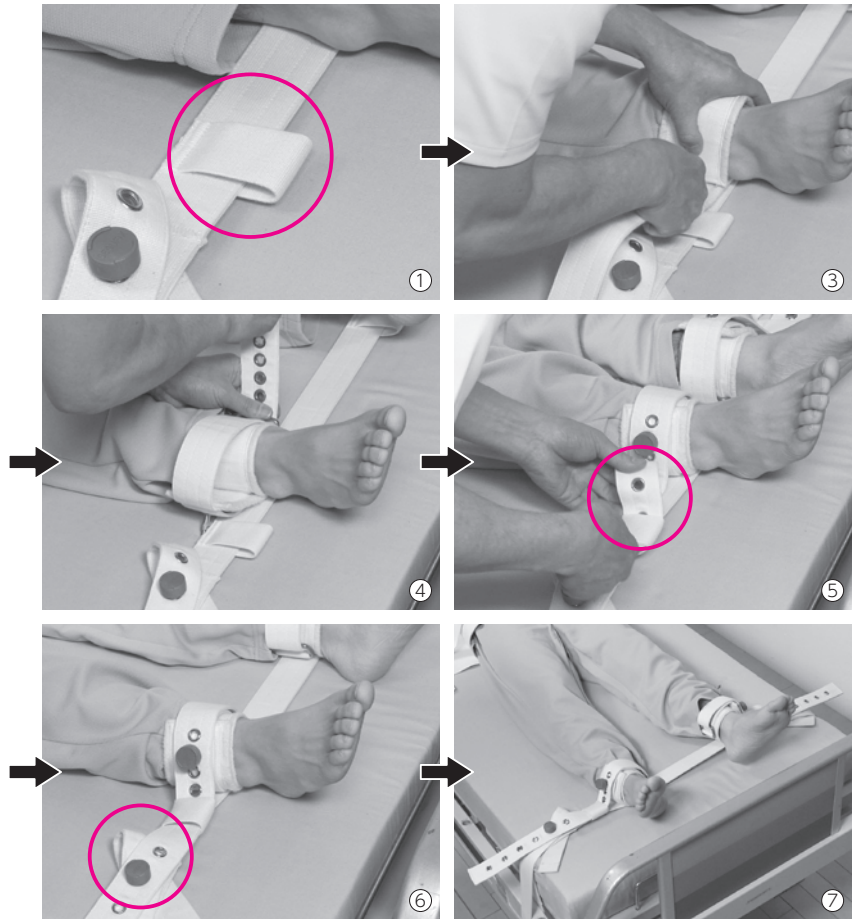
② 2 重裏地付金属リングにピンをセットします。

③金属リングが身体の外側になる向きで、フットカフを足首に巻きます。フットカフには面ファスナーが付いていますので、しっかり留めてください。

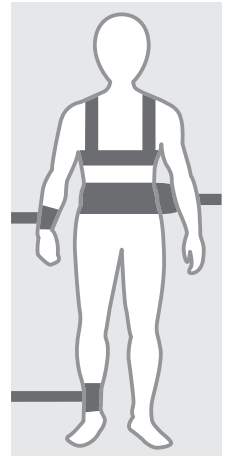
④金属製バックルにベルトを通し、折り返して金属リングをピンに入れ、ボタンで留めます。

⑤足の位置を調整し、余剰部分のベルトを足用取付ベルトのループに通します。

⑥動きを制限したい位置に足を調整し、足用取付ベルトを留めているボタンを一旦外し、足用ベルトを重ねてボタンで留めます。

⑦この状態で、足の動きは狭い範囲に制限されます。

上記の使用方法は、ベッドのギャッチアップ機能を使用しない条件で、ベッドのフレームを利用して取り付けを行っています。
患者の状態に応じて、各ベルトの緩みが適切な状態で取り付けられているか、ボタンが適切にロックされているかを必ず確認してください。

全身用セット

「セグフィックス保護ベルト」シリーズの基本となる腹部用ベルトをはじめ、上半身用ベルト、手用ベルト、足用ベルト、足用取付ベルトとボタン・ピン・キーのロックシステムを加えたセットです。
全身の動きを制限する際に必要な製品が含まれています。
ロックシステムは、ツイストロックシステム・パテントロックシステムからお選び頂けます。

全身用セット ツイストロックセット

【構成品】 腹部用ベルト・上半身用ベルト・手用ベルト× 2・足用ベルト× 2・足用取付ベルト・ツイストボタン&ピン× 10・ツイストキー× 2

全身用セット パテントロックセット

【構成品】 腹部用ベルト・上半身用ベルト・手用ベルト× 2・足用ベルト× 2・足用取付ベルト・パテントボタン&ピン× 10・パテントキー× 2

ツイストロックシステム

パテントロックシステム

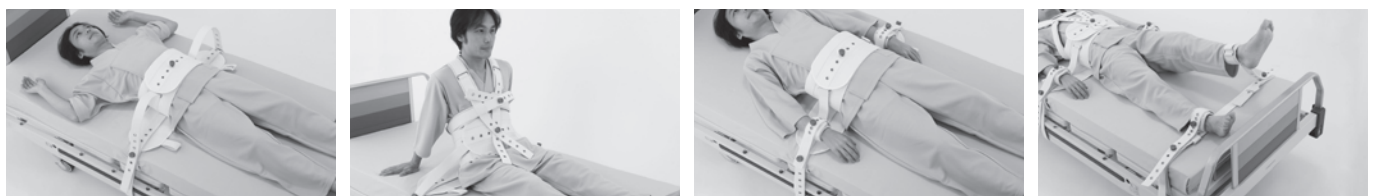
腹部用ベルト

上半身用ベルト

手用ベルト

足用ベルト

足用取付ベルト

使用方法 全身用セットに含まれる製品の使用方法は、各ページをご参照ください。

腹部用ベルト（P4〜6）

上半身用ベルト（P7）

手用ベルト（P8〜9）

足用ベルト（P10〜11）

パーツ一覧

腹部用ベルト

上半身用取付ベルト

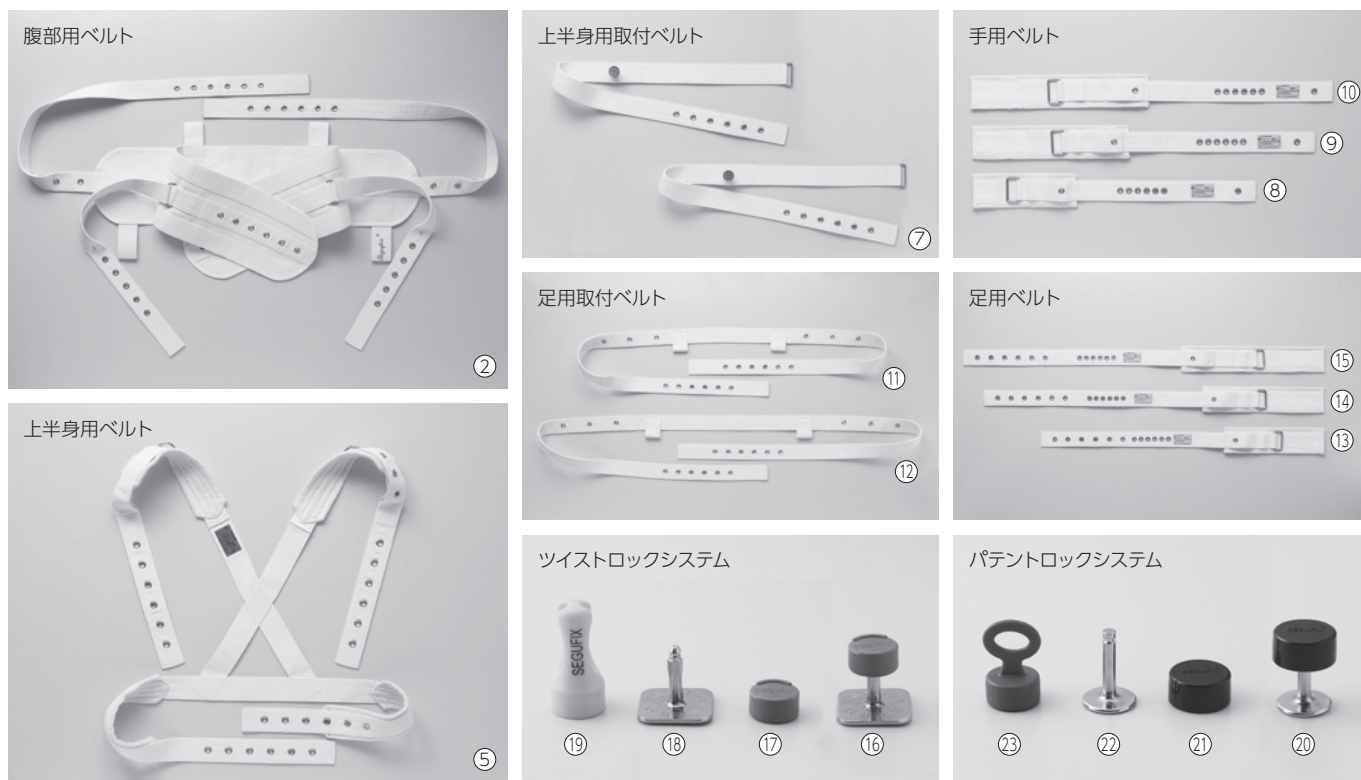
手用ベルト

上半身用ベルト

足用取付ベルト

足用ベルト

ツイストロックシステム

パテントロックシステム

腹部用ベルト

コード	規格	全長	腹部ベルト有効長	腹部ベルト幅	寝返り調整ベルト長	ベッド取付ベルト長	ベルト幅
① 23-7621-00	S	222cm	51 ～ 83cm	14cm	65cm	73cm	4.5cm
② 23-7621-01	M	268cm	76 ～ 118cm	18cm	65cm	96cm	4.5cm
③ 23-7621-02	L	268cm	115 ～ 157cm	18cm	65cm	96cm	4.5cm

上半身用ベルト

コード	規格	肩部ベルト長	下部ベルト長	ベルト幅
④ 23-7622-00	S	85cm	118cm	4.5cm
⑤ 23-7622-01	M	100cm	145cm	4.5cm
⑥ 23-7622-02	L	117cm	165cm	4.5cm

上半身用取付ベルト

コード	規格	全長	ベルト幅
⑦ 23-7623-00	2 本組	113cm	4.5cm

手用ベルト

コード	規格	入数	全長	ハンドカフ寸法	ベルト幅
⑧ 23-7624-00	S	1 本	63cm	23 × 7.5cm	4.5cm
⑨ 23-7624-01	M	1 本	77cm	35 × 7.5cm	4.5cm
⑩ 23-7624-02	L	1 本	81cm	40 × 7.5cm	4.5cm

足用取付ベルト

コード	規格	全長	ベルト幅
⑪ 23-7626-00	S	222cm	4.5cm
⑫ 23-7626-01	M ／ L	268cm	4.5cm

足用ベルト

コード	規格	入数	全長	フットカフ寸法	ベルト幅
⑬ 23-7625-00	S	1 本	83cm	29 × 7.5cm	4.5cm
⑭ 23-7625-01	M	1 本	100cm	36 × 7.5cm	4.5cm
⑮ 23-7625-02	L	1 本	106cm	42 × 7.5cm	4.5cm

ツイストロックシステム

コード	品名	サイズ
⑯ 23-7630-00	ツイストボタン＆ピン	–
⑰ 23-7631-00	ツイストボタン	φ 2.3 × H1.3cm
⑱ 23-7632-00	ツイストピン	3.6 × 3.6 × H3.4cm
⑲ 23-7633-00	ツイストキー	φ 2.7 × H5.7cm

パテントロックシステム

コード	品名	サイズ
⑳ 23-7640-00	パテントボタン＆ピン	–
㉑ 23-7641-00	パテントボタン	φ 2.5 × H1.3cm
㉒ 23-7642-00	パテントピン	φ 2.3 × H3.4cm
㉓ 23-7643-00	パテントキー	φ 2.2 × H3.7cm

※「セグフィックス保護ベルト」の代表的な使用方法をご説明するためのＤＶＤをご用意しております。ご入り用の際は、下記までお問い合わせください。
※製品の仕様は、2013 年 4 月現在のものです。

住所：東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3F
TEL：03-5816-8819（音声ガイダンス）
FAX：0120-024432